

## 13 回論述回答例と添削

### 問 1

受講生の回答例 92 文字

8 年間働いた経理部門から総務部門に異動となり、想定外の異動に戸惑っている。総務の仕事が向いていないのではないかと思います。経理職への転職を考えているが転職してしまっているのか迷っていること。

### 添削アドバイス

- 1) 流れと結論はほぼ合っている。文字数、字の大きさよいが、もう少し可能
- 2) 最後の結論は不十分。原文では最後は「転職してしまっているのか、転職できるだろうかなどいろいろ……」回答例では「転職してしまっているのか」だけしか書いていない

### 添削後 123 文字

8 年働いて実績も残したつもりで経理から総務にまさかの異動となり戸惑っている。つまらないミスもして総務が向いていないのでは思う。あらためて経理が好きなんだと実感し、思い切って経理ができる会社へ転職を考えているが転職してしまっているのか、できるのか？

### 添削ポイント：

- 1) 最後の結論は文字数が許す範囲（123 がいいところ）キーワードをできるだけ入れる。赤字で追加の部分。一方で文字数を有効に使うため、十分意味が分かる範囲で文字数を少なくする。例：経理部門は経理、
- 2) 最後に、重要キーワード、転職できるのか？を追加する。
- 3) 文字数がぎりぎりの場合は上記のように？？で終わってもよい。必ずしも ……で迷っている。……で悩んでいる。は入れなくてもいい。

### 問 2

受講生の回答例 100 文字

・今回の異動についての会社の意図を確認していないと思われること  
・経理部門での業務改善について評価されたとの認識だが、会社は本人の認識とは異なり、経理職への適性とは違う面を評価している可能性があること。

### 添削アドバイス

1 つはよいでしょう。2 つ目は言わんとしていることが分かりにくい（文章が）、もっとストレートにお表現すること。

### 添削後 118 文字

・今回の異動に関して、異動の理由（会社の意図）を確認していないで、転職で悩んでいること  
・相談者は自分が経理部門で評価されたと思っているが、CCとして話をよく分析すると経理では評価されていない可能性がある（自己評価と他者評価のズレがある）

### 問 3

受講生の回答例 44 文字

#### ① 目標

今回の異動の理由を確認した上で現在の会社を続けるか

転職するかを判断できるように支援する。

アドバイス：これは中間の目標：大きな目標と第一歩の目標の2つを併記するとよい。

② 方策 127 文字

- 1) これまでの主体的な働きぶりを賞賛し関係を構築する \* 賞賛は大袈裟
- 2) 今回の異動の理由や意図を前上司や会社に確認することの大切さに気付かせる。 \* その前に確認したか聞く、確認しない理由があれば聞く、その上での話
- 3) 経理部門での業務改善の評価の内容によっては、安易に経理職へ転職すべきではなく、自己の適性を見極めるように促す。

(注)問3で

添削後というより模範解答例

① 目標 90 文字

相談者が自分の適職につけることを大きな目標において、その為にはまず、現在の迷いは事実確認が欠けていることを気付かせ、まずは上司に理由をしっかりと聞き行動がとれることを第一の目標とする。

② 方策 第一の目標達成する為に次の5つの具体的な方策を順番に行う

- 1) 相談者がCCの話に耳を傾けるために、良い点を評価し信頼関係を強める。
- 2) 今回の異動の理由を元上司に確認していない？確認しない理由をよく聴く
- 3) その上、確認しないで臆測で判断することはデメリットはあってもメリットないこと気付かせる
- 4) 上司に聞くことでのメリットを十分理解させる。いい理由か悪い理由でも次の判断が的確に可能だから
- 5) 元上司に聞くことは勇気もいり聞きにくいものだから、その為の不安があれば取り除くコーチングする

以上 237 文字。6行～7行使えるから 240 文字以内は適性。

補足：ここでの目標設定と方策は「スモールステップ」のアプローチです。

以上